

島しょの高等学校の先生方に聞きました【八丈高等学校】

中部学校経営支援センターでは、島しょの都立学校に赴任された先生方の声を通して、学校の魅力や島での生活を紹介しています。今回は、八丈高等学校に赴任された先生から、学校や日々の生活に関する声を紹介します。

○ 八丈高等学校・全日制課程 金子 遼太郎 先生

はじめまして。この度、島だよりの執筆をさせていただくことになりました。八丈高校の金子遼太郎と申します。専門教科は数学で、入都10年目、現任校で3校目です。



↑八丈高等学校
(全日制)
ホームページ



↑八丈高等学校
(定時制)
ホームページ

Q1 八丈高等学校に赴任することになり・・・

公募制人事異動を活用し、八丈高校全日制課程に異動させていただきました。そのため、異動先の内示をいただいたときは、喜びでいっぱいでした。しかし、それからは、入れ替わり予定の教員住宅に在住者とのメールでのやり取りをはじめ、自動車購入や家具搬送などの引っ越し準備でバタバタとした日々を過ごしました。赴任直後の第一印象は、「受け入れ態勢がすごい」です。とても温かく迎えていただきました。本校は、良くも悪くも異動が多く、教職員、生徒、保護者、島民みんなが異動慣れしています。そのため、生活に必要な手続きや物品購入などとても丁寧に教えていただき、スムーズに新しい生活をスタートすることができました。

Q2 八丈高等学校について・・・

島内唯一の高校ということもあり、生徒間の習熟の差がとても大きいです。進路希望も就職（島内・島外）から大学進学（都内・地方）まで幅広く、指導に工夫が必要です。しかし、逆にいうと、一度にいわゆる進学校や専門学科の学校などを経験することができ、とても多くのことを学ぶことができます。また、フットワークが軽い教員が多く、様々なことに挑戦することもできます。

素直で穏やかであり、純粋な生徒が多いです。学びに対してとても貪欲で、吸収性が高い生徒が多く、指導のしがいがあります。地域のスポーツクラブや、伝統芸能である八丈太鼓をはじめとした音楽活動も盛んであり、身体能力や芸術的センスが高い生徒も多いため、学校行事は盛り上がります。



八丈富士と夕日

Q3 島での生活について・・・

休日は、同僚や他の公務員の方々とスポーツを楽しんだり、登山や釣りといった恵まれた自然の恩恵にあずかったりしています。飲食店がとても多く、海の幸やジャージー牛乳、島のお酒などを堪能することもできます。これから夏のベストシーズンに入るため、マリナクティビティなどが楽しみです。



八丈ブルーの海

Q4 島しょの高等学校へ異動を考えている方へ・・・

「島への異動」は人生の一大決心が必要のように感じるかもしれませんが、実際はなんてことはない、隣町への異動の延長です。スーパーは夜まで営業しており、生活に必要な最低限の物は意外と何でも揃います。さらに、現在は令和の時代であり、島とはいえ、東京都です。通販はすぐ届きますし、光回線もサクサクで、生活で困ることは基本的にはありません。島の学校で勤めることの最大の魅力は、全校生徒（128名）一人一人と真正面から向き合い教育活動ができることです。情熱溢れる若手教員が多く、自分たちで学校を変えていくことができるのも魅力の一つです。実際、若くして分掌主任やPTリーダーといった学校の主要なポストを担うことができ、教員としてのスキルがどんどん上がっていくことを肌で感じられます。興味がある方は、まずは、旅行でいらしてみませんか？きっと魅了されることと思います。お待ちしております。



八丈レモンかき氷

☆中部学校経営支援センターでは、これからも島しょ校の情報を提供してまいります。島しょ校に勤める教職員の皆さんや、島で学ぶ生徒たちのことを知っていただく一助になることを期待しております。